

平成 25 年度 所管事業の実績の概要

I いのちの教育の基礎となる家庭教育と幼児期の教育を支援する

1 家庭教育支援の充実

(1) 家庭教育推進事業

家庭教育にかかわる今日的な課題の解決を図るとともに、子どもたちが基本的な生活習慣・生活能力、思いやりや善悪の判断等を身につけるうえで重要な役割を担う家庭の教育力の充実のために、以下の施策を実施した。

①家庭教育推進協議会の設置

ア 山形県家庭教育推進協議会（6月、2月の2回）

12名の委員を委嘱し、家庭教育の向上や家庭教育支援を推進する事業等の方策について検討した。

イ 県家庭教育アドバイザーの委嘱

35名の県家庭教育アドバイザーを委嘱し、教育事務所ごとに実施した家庭教育出前講座や「やまがた子育て講座」等の講師として活動していただいた。

②家庭教育電話相談「ふれあいほっとライン」の開設

家庭教育や子育てに不安や悩みを持つ親等からの相談に応じるため、電話等による相談を実施した。（相談件数 113 件：12 月現在）

③やまがた子育て講座（国補助事業）

家庭教育に関する学習機会等の充実を図るために市町村と連携し、主に小学生を持つ親に対する家庭教育にかかわる学習機会を提供した。

今年度は、29 市町村 213 箇所を実施を予定しており、講話だけでなく、グループワークや座談会等、参加者が主体となる講座の実施を推進した。

④家庭教育出前講座（国補助事業）

多忙のため家庭教育の学習機会に参加できない親等に対応するため、講師が事業所等に出向いて、仕事と子育てや家庭教育の大切さなどについての講座を行い、理解と認識を深めた。

番号	訪問先 (H26.1月現在)	市町村	参加者数	講師
1	尾花沢ロータリークラブ	尾花沢市	11	※鈴木正司氏
2	日本年金機構山形事務センター	山形市	23	※金澤和子氏
3	もみじ会	天童市	50	※渡邊八重子氏
4	山形銀行従業員組合	山形市	22	※金澤和子氏
5	神町電子株式会社（保育園）	東根市	33	※渡辺裕子氏
6	真室川農業協同組合	真室川町	26	※八鍬幸子氏
7	社会福祉法人清流会	戸沢村	26	高橋芳子氏
8	特別養護老人ホームひめゆり荘	鮭川村	18	※横山智恵子氏
9	公立置賜長井病院	長井市	40	※黒田三佳氏

10	南陽臨雲ロータリークラブ	南陽市	1 2	片倉 尚氏
11	白鷹町役場	白鷹町	2 5	※金澤和子氏
12	白川温泉いいで白川荘	飯豊町	2 8	※黒田三佳氏
13	秋山鉄工株式会社	鶴岡市	2 4	※佐藤以仲氏
14	特別養護老人ホームゆうすい	遊佐町	5 3	※片桐晃子氏
15	すこやかレディースクリニック	鶴岡市	3 0	※後藤敬子氏
16	株式会社安藤組	庄内町	1 6	※片桐晃子氏
17	県立荒砥高等学校 1 年	白鷹町	6 4	※黒田三佳氏
18	県立庄内総合高等学校 3 年	鶴岡市	1 1 2	※後藤敬子氏
19	県立鶴岡北高等学校	鶴岡市	5 4 0	※後藤敬子氏
20	県立庄内農業高等学校 3 年	鶴岡市	8 7	※後藤敬子氏

※県家庭教育アドバイザー

⑤家庭教育支援フォーラム（国補助事業）

身近な地域における家庭教育支援体制の充実を図るために、家庭教育支援者の研修及び情報交換等を県内 4 地区で実施した。

村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区
①5月10日(金) 親学びの場をどう仕組んでいくか 【講師】金澤和子氏 (県家庭教育アドバイザー)	①6月1日(土) 思春期の子どもをもつ親への支援 【講師】高橋芳子氏 (元山形大学教授)	①10月13日(日) しあわせココロのつくりかた 【講師】志村友理氏 (緑水の森被災者支援活動副代表)	①6月4日(火) 保護者の交流を深めるPTA研修のあり方 【講師】金澤和子氏 (県家庭教育アドバイザー)
②12月3日(火) モンスターペアレント論を超えて 【講師】小野田正利氏 (大阪大学大学院教授)	②9月3日(火) 地域における子育て支援の推進 【講師】金澤和子氏 (県家庭教育アドバイザー)	②12月18日(水) ホスピタリティな子育ての舞台山形 【講師】黒田三佳氏 (県家庭教育アドバイザー)	②6月21日(金) 保護者との信頼関係を築いていくために 【講師】國眼眞理子氏 (東北公益文科大学教授)

(2) 家庭教育支援者活用事業（重点分野雇用創出事業）

きめ細かな家庭教育支援を行うために、家庭教育支援チームを組織し、学校や公民館等に出向いて不安や悩みを抱える親の相談対応や情報提供等を行った。

○委託団体：NPO法人やまがた育児サークルランド(山形市)

○主な活動

- ・市内小学校 2 ヶ所(山七小、金井小)での相談室開催
- ・がじゅまる広場（南部公民館）開催
- ・SUN サンルーム（東小学校）開催
- ・公民館・コミュニティセンター共催親子事業等開催
(霞城・東部公民館、南山形・大曾根コミュニティセンター) 等

2 幼児共育の推進

(1) 幼児共育推進事業

「家庭」「幼稚園・保育所等」「地域」が連携して幼児期の子どもを育む『幼児共育』を推進するために、以下の施策を実施した。

①幼児共育普及推進会議の設置

ア 各地区幼児共育普及推進会議の開催（各年2回）

幼稚園・保育所関係者等を委員に委嘱し、市町村への幼児共育の普及推進のために、幼児共育推進プロジェクト(フォーラム、公開講座)の効果的な実施等について検討した。

イ 幼児共育の普及・啓発

幼児共育ポスター及びリーフレットを県内幼稚園・保育所等に配布した。

②幼児共育ふれあい広場（国補助事業）

三者の連携による親子のふれあいを大切にした様々な体験活動等を提供した。

今年度は、24市町村123箇所を実施を予定しており、平成22.23年度に開発した「ふれあい活動プログラム」を活用した様々な親子の体験活動の実施を推進した。

③幼児共育推進プロジェクト（国補助事業）

ア 幼児共育フォーラム（県内4地区）

幼児共育の実践事例等に基づく、指導者向けの研修会を実施した。

村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区
①11月13日(水) (138名) 事例に学ぶ幼児共育講座 【講師】地域:村山恵子氏 読書:栗野桂子氏 (県家庭教育アドバイザー) 自然:八木文明氏 (葉っぱ塾代表)	①10月31日(木) (44名) 絵本が育てる子どもの感性 【講師】佐藤奈津紀氏 (絵本作家)	①7月20日(土) (120名) 幼児共育で人やモノ、自然とのかかわりを 【講師】奥山優佳氏(東北文 教大学短期大学部准教授)	①11月19日(火) (32名) 広げる・深める共育読書環境 づくりの可能性 【講師】本間俊美氏 (県家庭教育アドバイザー)

イ 幼児共育ふれあい広場「公開講座」（県内4地区）

「ふれあい活動プログラム」による実践活動の普及を図った。

村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区
山辺町	最上町	白鷹町	酒田市・遊佐町
①ゆりかご幼稚園 (288名) ②やまべ幼稚園 (162名)	①富沢保育所 (77名)	①よつば保育園 (139名)	①黒森保育園 (97名) ②亀ヶ崎保育園 (196名) ③遊佐保育園 (84名)
①親子ふれあい体操と子育てわいわいトーク 【講師】木村博義氏 (カワイ体操教室講師) 【助言者】栗野桂子氏 細谷俊裕氏 渡邊八重子氏 (県家庭教育アドバイザー) ②親子ふれあい工作と講話 【講師】栗野桂子氏 (県家庭教育アドバイザー)	①秋の「くくれもち」づくり 【講師】新國玲子氏 (県家庭教育アドバイザー)	①十王地区おでかけ発表会 【講師】長谷部真弓氏 (町少年少女合唱団指導者)	①苗植えと笹巻きづくり 【講師】加藤真知子氏 (県家庭教育アドバイザー) ②保護者参観日ネイチャーゲーム 【講師】今野善行氏 (庄内ネイチャーゲームの会) ③つちだ先生と一緒に絵を描こう 【講師】土田義晴氏(絵本作家) 後藤淳子氏(サークルたんぼぼ) 加藤真知子氏(県家庭教育アドバイザー)

Ⅱ 子どもと大人の「まなび」や社会力を高めるかかわりの充実を図る

1 少年期の教育の充実

(1) 放課後子どもプラン推進事業

放課後や学校外における子どもたちの安全で健やかな居場所づくりと、地域の教育

力の再生を図る趣旨で、文部科学省「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省「放課後児童健全育成事業」が連携し「放課後子どもプラン」として推進を図った。

①県推進委員会の設置（5月17日、2月21日開催予定の年2回実施）

13名の委員を委嘱し、県子育て推進部子育て支援課との連携を図りながら、県の推進方策や県事業の実施計画及びその評価、次年度事業の方向性等について協議。

②コーディネーター研修会の実施

○期日：10月11日（私学会館） 参加者：49名

○講演：「放課後子ども教室に期待される効果」

○演習：「活動プログラムづくりのポイント」（子どもを育てるプログラム）

○講師：文教大学人間科学部人間科学科 教授 金藤 ふゆ子 氏

③指導者研修会の実施

		村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区
第1回	期日	5月20日(月)	6月19日(水)	6月7日(金)	5月28日(火)
	参加者	145名	44名	132名	116名
	場所	村山総合支庁	新庄山屋 セミナーハウス	米沢市 すこやかセンター	三川町公民館
	内容	○講演 「気になる子の理解と対応の仕方」 横山浩之氏 (山形大学)	○アイスブレイキング講座 石井勝氏 (ポポーの広場) ○演習①～③ 「楽しい作品づくり講座」石井勝氏他	○講演 「特別な支援を必要としている子に寄り添う」 花輪敏男氏 (FR教育臨床研究所)	○講演 「子ども達の安心安全な放課後のために」 横矢真理氏 (子どもの危険回避研究所)
第2回	期日	6月20日(木)	11月6日(水)	8月27日(火)	7月2日(火)
	参加者	164名	29名	90名	142名
	場所	天童市 天童中部公民館	最上総合支庁	飯豊少年自然の家	庄内町 響ホール
	内容	○講演 「気になる子の理解と対応の仕方」 横山浩之氏 (山形大学)	○講演 「続！ケースワーク・グループワーク理論と実践」 田中純一氏 (有明児童センター)	○実技①～⑤ ※交代で 読み聞かせ、クッキング、工作ゲーム、クラフト 佐々木ゆか氏 他	○講演 「気になる子への対応①」※基礎編 三浦光哉氏 (山形大学)
第3回	期日	9月10日(火)	—	10月2日(水)	9月26日(木)
	参加者	175名		99名	34名
	場所	東根市 市民体育館		置賜総合支庁 (西庁舎)	三川町公民館
	内容	○実技①～④ レクリエーションと安全管理、外遊びと危険管理、野外散策、子どもの事故やげが 村山恵子氏 (あそびあらんどプレイヤー) 他		○講演 「特別な支援を必要としている子に寄り添う」 FR教育臨床研究所 花輪敏男氏 (FR教育臨床研究所)	○講演 「遊びは学び」 ○実技 子どもたちが喜ぶ工作遊び 宮田浩一氏 (酒田市子ども育成連合会)

第 4 回	期 日	12月3日(火)	—	—	11月27日(水)
	参加者	231名			148名
	場 所	県生涯学習 センター			三川町公民館
	内 容	○講演 「モンスターペアレント 論を超えて」 小野田正利氏 (大阪大学大学院)			○講演 「気になる子への対 応②」※応用編 三浦光哉氏 (山形大学)

④市町村補助事業の実施

ア 運営委員会及びコーディネーターの設置

イ「放課後子ども教室」の実施＝ 31市町村 109箇所

ウ「放課後児童クラブ」の実施＝ 34市町村 270箇所

(2) 学校支援地域本部事業

地域住民の積極的な学校支援ボランティア活動を通じて学校と地域の連携体制の構築を図り、学校の教育活動を充実させるとともに、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図るために、学校支援地域本部の設置を推進した。また、学校・家庭・地域の連携の在り方や推進の方策等について調査研究を実施し、各市町村の情報収集と分析を行うとともに、優れた「学校支援モデル」を普及させるために研修会を開催した。

①運営協議会の開催（6/14、2/7の年2回の実施）

11名の委員を委嘱し、県内小中学校の学校支援ボランティアの活動状況を把握し、今後の事業の進め方等について協議した。

②地域コーディネーター研修会の開催

○期日：6月28日（県生涯学習センター） 参加者：72名

○伝達講習：「学校支援コーディネーター意見交換会」

発表者：庄内町(余目第一小学校)地域コーディネーター 落合陽子氏

○情報交換：「学校のニーズを引き出し、ボランティア活動を活性化！」

○講 演：「地域連携で学校を変える ―学社連携の意義― 」

講師：日本大学文理学部教授 佐藤晴雄 氏

③市町村補助事業の実施

ア 実行委員会の設置及び地域コーディネーターの配置

イ「学校支援地域本部」の設置＝ 21市町村 62本部 84校

④学校支援体制の在り方に関する調査研究

ア「学校支援モデル」調査・研究

県内4地区（河北町、新庄市、高畠町、庄内町）においてモデルとなる学校支援地域本部を指定し、各教育事務所の社会教育主事・指導主事のサポートのもと、既存の学校支援体制の充実を図った。

イ 学社連携授業研究会

	村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区
期 日	5月20日(月)	6月19日(水)	10月16日(水)	6月19日(水) 9月27日(金)
参加者	49名	53名	56名	21名 38名
場 所	職業訓練センター (河北町)	最上中学校 (最上町)	和田小学校 他 (高島町)	余目第一小学校 庄内町響ホール
内 容	○分科会 低中高学年、中学校で情報交換等 ○鼎談 「地域とともに子どもの学びをデザインしよう」 金澤和子氏 (県社会教育委員) 片桐久智氏 (東根市地域コーディネーター) 他	○講演 「学校と地域による協働の必要性とその課題」 高橋興氏 (青森中央学院大学) ○分科会 事例発表と協議 ○放課後活動視察 もがみサポート塾での学習支援	○公開授業 第4学年総合的な学習の時間(食農教育)の学習支援 ○全体会 ・モデル本部(和田小)概要説明 ・公開授業振り返り ・川西町事例発表 ・助言	○公開授業 第4学年社会科「ごみの処理と利用」調べ学習 ○事後研究会 情報交換等 ○事業説明 ○講演 「語る!活かす!!読み聞かせ」 本間俊美氏 (県家庭教育アドバイザー)

(3) 「山形の宝」育成事業子ども伝承活動ふるさと塾

子どもの郷土愛の醸成、地域コミュニティの活性化、地域文化の保存・伝承を通じて、子どもの社会力の育成を目指し、親から子、子から孫の代へ「ふるさと山形」のよき生活文化や知恵、伝統芸能などを教え合い、学び合いながら、伝承していく活動を推進するため、以下の施策を実施した。

①指導者研修会・出前講座の実施

地区	指導者研修会			出前講座 (実施済)
村山	—			2町へ各2回
最上	5月28日(火)	最上総合支庁	参加者 9名	—
	7月11日(木)	金山町中央公民館	参加者 31名	
置賜	11月30日(土)	飯豊町東部地区公民館	参加者 14名	4校へ7回 公民館へ1回
庄内	「ふるさと塾こどもフェスティバル」と兼ねて実施			9校へ各1回

②ふるさと塾こどもフェスティバルの開催 (委託事業)

- 日 時： 9月14日(土) 9:00~16:00
- 場 所： 庄内町文化創造館「響ホール」
- 参加者： 429名
- 委託先： ふるさと塾こどもフェスティバル実行委員会
- 内 容： 9:30~11:45 遊び体験、発表団体のパネル展示、体験交流会
13:00~15:55 8団体のステージ発表
「テーマソング」の披露・「ふるさと塾こども宣言」

③市町村総合交付金による市町村への活動支援

対象 35 市町村中、山形市を除いた 34 市町村で実施

④記録保存システム（ふるさと塾アーカイブス）の運用

ふるさと塾活動映像 188 コンテンツ・視聴覚教材 58 コンテンツを、県生涯学習センターホームページに公開中。また、「ふるさと塾こどもフェスティバル 2013」の内容を掲載予定。

⑤目標数値 ふるさと塾賛同団体数【平成 28 年度 300 団体】

（平成 25 年 12 月末現在 280 団体）

（4）やまがた・ふくしま少年少女交流事業

①交流会の実施 年 4 回の開催

ア 春の交流会

- ・期 日：6 月 21 日（金）～23 日（日）2 泊 3 日
- ・場 所：山形県朝日少年自然の家
- ・内 容：地元小学生等との交流（竹箸作り・流しそうめん体験）、自然の冒険、プラネタリウム鑑賞、さくらんぼ狩り体験 等
- ・参加者：76 名（福島 21 名 高校生 22 名 協力者 7 名 山形 26 名）

イ 夏の交流会

- ・期 日：8 月 8 日（木）～11 日（日）3 泊 4 日
- ・場 所：山形県金峰少年自然の家分館海浜自然の家
- ・内 容：野外炊飯、地元小学生との交流（ドッジボール、長縄跳び等）、カヌー体験、加茂水族館見学 等
- ・参加者：71 名（福島 28 名 高校生 13 名 協力者 8 名 山形児童 19 名 引率 3 名）

ウ 秋の交流会

- ・期 日：10 月 25 日（金）～27 日（日）2 泊 3 日
- ・場 所：山形県神室少年自然の家
- ・内 容：地元小学生との交流（芋煮づくり）、魚釣り、化石発掘、県立博物館見学 等
- ・参加者：75 名（福島 19 名 高校生 20 名 協力者 19 名 山形 17 名）

エ 冬の交流会

- ・期 日：1 月 11 日（土）～13 日（月）2 泊 3 日
- ・場 所：山形県飯豊少年自然の家
- ・内 容：ひっぱりうどんづくり、地元小学生との交流（雪上チューブすべり・アイスづくり・雪中花火大会等）、浜田広介記念館見学 等
- ・参加者：69 名（福島 35 名 高校生 10 名 協力者 11 名 山形 13 名）

2 青年期の教育の充実

（1）地域青少年ボランティア活動推進事業

「山形方式」と呼ばれる地域青少年ボランティア活動の推進のため、中央センターと四つの地区センターを設置して、情報の収集・提供や研修・交流機会の拡充を図った。

①中央センター事業（県青年の家）

ア 山形県地域青少年ボランティア推進会議

県内の青少年ボランティア活動の推進方策を検討するとともに、各地区センターの事業計画の検討と評価を行った。

イ YYボランティアビューローの設置

県内の青少年ボランティア活動に関する各種情報を収集し、インターネット等を通じて広く発信するとともに、「出前講座」の実施（6回）により活動実践者やボランティアサークルへの支援を行った。

また、ボランティア活動に興味を持つ青少年に、ボランティア活動を体験できる機会を紹介するリーフレットを作成し「季節ごとの体験ボランティア」という名称で、県内一円でボランティア活動機会の提供を行った。

(ア) 期 間 夏：7月～9月、冬：12月～1月

(イ) 場 所 県内全域

(ウ) 内 容 ボランティアサークル・団体・施設等が企画するボランティア活動機会の提供

(エ) 対 象 県内全ての小中高生及び一般

(オ) 実 績 全35市町村 53団体 72企画 参加者数1,234名【夏季】

ウ YYボランティアフェスティバル

県内各地域の青少年ボランティアサークルが一堂に会し、日常の実践活動の発表を通して学び合い交流を深めた。また、合同で実践活動を一般公開した。

(a) 期 日 平成25年10月19日（土）～20日（日）

(b) 場 所 県青年の家

(c) 参加者 51名（中学生6名、高校生22名、青年・指導者等51名）

(d) 内 容 [1日目] 活動発表、アイスブレイク、実習、交流会
[2日目] 一般公開、ふりかえり

②地区センター事業（4教育事務所）

ア 地区地域青少年ボランティア推進会議の設置

各地区の実践、活動、事業に関する情報を交換しながら、地区内の青少年ボランティア活動の推進に向けた諸施策について協議した。また、活動アドバイザーを委嘱し、地区内のサークルやボランティア実践者へ助言するなどの支援を行った。

イ YYボランティアセミナー

各地区の中高生を対象に、主体的な計画立案と、人とのかかわりを重点として、ボランティア活動を実践する講習会を実施した。

地区	村	山	最 上	置 賜	庄 内
期日	6/15(土)～17(月)	7/30(火)～31(水)	7/7(日) 7/30(火)～31(水)	8/7(水)～9(金)	8/7(水)～9(金)
参加者	27名(高校生)	132名(中学生)	28名(中・高生)	40名(中・高生)	35名(中・高生)
場所	県青年の家	県青年の家	神室少年自然の家	飯豊少年自然の家	金峰少年自然の家
内容	アイスブレーキング、 講義、実技講座、 企画演習、施設訪問・ 交流実習	アイスブレーキング、 講義、企画演習、 施設訪問・交流実習	アイスブレーキング、 実技講座、企画演習、 施設訪問・交流実習	アイスブレーキング、 講話、実技講座、 青年交流会への参加	アイスブレーキング、 講話、実技講座、 企画演習、施設訪問・ 交流実習

(2) 青年交流事業

青年グループの代表等 45名を委員とする「青年交流会企画運営委員会」を設置し、

「青年交流会」を開催するとともに、青年の実践力や社会力の向上を図るため、各支部活動において「学び合い地域活性化推進プロジェクト」を実践した。

また、地域をリードする青年の育成に向け、「青年交流会企画運営委員」経験者等14名により「青年会議」を設置し、本事業の課題と方向性について検討するとともに、「青年交流会企画運営委員会」の活動に対し、指導助言を行っている。

①青年会議

- 第1回会議 5月18日(土) 事業計画と役割の確認
- 第2回会議 2月23日(日) 次年度の事業実施に向けた検討

②青年交流会(全県)

- 期 日：11月30日(土)～12月1日(日)
- 場 所：山形県青年の家、村山市総合文化複合施設「甕葉プラザ」
- 参加者：116名
- 内 容：【1日目】ワークショップ、翌日の準備、夕食会
【2日目】青年交流やまがた祭(村山市「甕葉プラザ」)

③学びあい地域活性化推進プロジェクト

地区	村 山 (委員 10 名)	最 上 (委員 12 名)	置 賜 (委員 11 名)	庄 内 (委員 11 名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大人の遠足「北村山編」 11月3日(日) 陶芸家・そば店主・観光ボランティアからの聞き取り等 ・大人の遠足「西村山編」 2月22日(土) 蜜蝋職人・旅館店主からの聞き取り等 ・会議10回 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベント等で活躍する青年を訪問し、支部で情報を共有し、青年の相互交流を促進する。 全8市町村延べ12回訪問 ・2月1日(土)に交流会開催 ・会議8回 	<ul style="list-style-type: none"> ・おきたま友活プロジェクト 11月2日(土)～3日(日) ネイチャーゲーム、ツリーイング、創作活動等 地域の青年グループを訪問してイベントへの参加を促すことにより、多くの青年グループとの絆を深めた。 ・会議11回 	<ul style="list-style-type: none"> ・わちゃわちゃ庄内フェスティバル 10月6日(日)三川町 音楽・ダンス等のステージ発表、活動展示、体験ブース展開、屋台販売など 28グループ 141名 一般来場者 441名 ・会議13回

(3) 若者自立支援事業

ひきこもり青年に、生活体験や自然体験を通じた交流機会を提供した。また、フリースペース等の居場所に通いながら社会参加できるようになった青年等で実行委員会を組織し、1泊2日の「プロジェクトYY交流会」を2回実施した。

①第1回交流会

- 期 日：平成25年8月23日(金)～24日(土)
- 場 所：山形県金峰少年自然の家分館海浜自然の家
- 内 容：野外炊飯、元滝伏流水見学、サンセットウォーク、ティーパーティー、クラフト作成 等
- ・参加者：団体指導者等含む33名

②第2回交流会

- 期 日：平成25年10月31日(木)～11月1日(金)
- 場 所：山形県飯豊少年自然の家

○内 容：うどん打ち、芋煮づくり、ティーパーティー、奉仕活動（フラワー長井線駅舎・駐輪場等清掃） 等

○参加者：団体指導者等含む 23 名

③実行委員会の開催（4回 5月、7月、9月、12月）

（4）若者自立支援活動推進事業（「重点分野雇用創出事業」に係る基金事業）

他者とのかかわりをもつことが苦手なひきこもり青年等にカウンセリングを行ったり居場所を提供したりすることで、社会参加を支援した。

（委託団体）4団体（各1名 雇用）

- ・特定非営利活動法人 発達支援研究センター（山形市）
- ・特定非営利活動法人 から・ころセンター（米沢市）
- ・特定非営利活動法人 東北青少年自立援助センター 蔵王いこいの里（上山市）
- ・特定非営利活動法人 With 優（米沢市）

3 成人期・高齢期の教育の推進

（1）成人期・高齢期教育担当者研修事業（社会教育職員研修事業）

成人期・高齢期における社会教育の現状を調査し、豊かで活力ある地域社会を形成するためのよりよい生涯学習の機会と場を提供できるよう以下の研修会等を実施した。

①市町村担当者会・研修会の実施

村山地区	【担当者会・研修会】 「つながるひろがる学ぶ生涯現役」 ・各市町、公民館等の取組状況についての情報交換 ・金澤和子氏（山形県社会教育委員）による講話	7月17日 （水）	村山総合支庁西庁舎	参加者 22名
最上地区	【研修会】 「地域の活力を高めるためのネットワーク型組織運営」 ・原義彦氏（秋田大学准教授）による講話	9月5日 （木）	最上広域交流センター 「ゆめりあ」	参加者 19名
置賜地区	【研修会】 「高齢社会における施策について」 ・山口仁氏（山形県健康福祉部主査）による講話	1月30日 （木）	置賜教育事務所	参加者 38名
庄内地区	【担当者会】 ・各市町の取組状況についての情報交換 ・成人期・高齢期教育の課題についての意見交換	10月22日 （火）	庄内総合支庁分庁舎	参加者 11名

Ⅲ 「まなび」を育み、かかわりの機会を充実するための環境をつくる

1 連携協力の推進

（1）学校支援地域本部事業（再掲）

（2）放課後子どもプラン推進事業（再掲）

(3) P T A指導者研修事業（社会教育研修事業）

県内のP T A活動に携わるリーダーが一堂に会し、P T Aの運営や活動に関する先進事例の発表をもとに研修を深め、これからのP T A活動の活性化と、家庭・学校・地域を結ぶP T Aのリーダーとしての資質の向上を図った。

①県P T A指導者研修会

- 期 日：平成 25 年 7 月 6 日(土) 参加者 148 名
- 場 所：県生涯学習センター「遊学館」（山形市）
- 内 容：全体会（県優良P T A表彰、講演）各校種別の研修会

②優良P T A表彰事業

ア 優良P T A県教育委員会表彰選考委員会（5月24日）

県教育委員会表彰団体として、小学校8校、中学校1校、高等学校2校の計11団体を選考した。

- ・尾花沢市立尾花沢小学校 PTA
- ・山形市立村木沢小学校 PTA
- ・金山町立明安小学校 PTA
- ・飯豊町立第二小学校 PTA
- ・庄内町立余目第四小学校 PTA
- ・山形県立長井工業高等学校 PTA
- ・寒河江市立醍醐小学校 PTA
- ・山形市立蔵王第一中学校 PTA
- ・小国町立沖庭小学校 PTA
- ・酒田市立亀城小学校 PTA
- ・山形県立真室川高等学校 PTA

イ 優良P T A文部科学大臣表彰推薦及びP T A活動振興功労者表彰（5年に1回）

県教育委員会表彰団体のうち、小学校2校、高等学校1校を推薦した。

各P T A連合会から推薦のあった4個人を推薦した。

優良PTA文部科学大臣表彰団体	PTA活動振興功労者表彰(5年毎)
尾花沢市立尾花沢小学校 PTA（尾花沢市）	逸見良昭 氏（元県PTA連合会長）
金山町立明安小学校 PTA（金山町）	遠藤正明 氏（元県PTA連合会長）
山形県立長井工業高等学校 PTA（長井市）	桂木宣均 氏（元県高等学校PTA連合会長）
	岸靖博氏（元県高等学校PTA連合会副会長）

③P T A研修資料作成

P T A活動の活性化を図るための資料とするために、県内の優良P T A団体の実践を紹介した「これからのP T A No.43」を作成し、各単位P T A、市町村教育委員会等に配付した。

(4) 視聴覚教材普及事業

視聴覚教材の自作化を奨励し、視聴覚教育活動の振興を図るため、山形県視聴覚ライブラリー協議会及び公益財団法人山形県生涯学習文化財団と共催で自作視聴覚教材コンクール及び視聴覚教材制作技術講習会を実施した。

①県自作視聴覚教材コンクール中央審査会（発表会）

各地区の審査を経て中央審査会に出品された作品を学校教育部門、児童生徒作品部門、

社会教育部門の3部門で審査を行った。

○期日：平成26年1月18日

○会場：県生涯学習センター「遊学館」（山形市）

○中央審査会に出品数：計30本

- ・学校教育部門9本（DVDビデオ2本、紙芝居6本、パソコン作品1本）
- ・児童生徒作品部門7本（DVDビデオ4本、パソコン作品1本、紙芝居2本）
- ・社会教育部門14本（DVDビデオ6本、TP1本、紙芝居7本）

○入賞数：最優秀賞6（DVDビデオ5本、紙芝居1本）優秀賞12

②視聴覚教材制作技術講習会

郷土資料等となる自作紙芝居制作講習を行い、作品制作にかかわる基本的な考え方や効果的に思いを伝えるための脚本作り、絵の構成や語り的手法等について技術の向上を図った。

○会場：県生涯学習センター（山形市） 参加者26名

○開催日程：①7/25（木）②8/9（金）③8/23（金）④10/12（土）

（5）社会教育関係団体の支援

①社会教育関係団体事業費補助金

社会教育関係団体の健全な運営と活動の活性化を図るため、次の団体が実施する事業について助成した。

○山形県婦人連盟（婦人団体事業費補助金：84千円）

○山形県PTA連合会（PTA連合会事業費補助金：46千円）

○山形県高等学校PTA連合会（PTA連合会事業費補助金：27千円）

○山形県特別支援学校PTA連合会（PTA連合会事業費補助金：37千円）

○ボーイスカウト山形県連盟（ボーイスカウト事業費補助金：42千円）

○山形県社会教育連絡協議会（山形県社会教育連絡協議会事業費補助金：110千円）

②教育文化フォーラム運営費補助金

教育文化の振興及び発展に資するため、団体運営費について助成した。

2 社会教育施設的环境整備

（1）県立図書館の整備・充実

公立図書館との連携強化、調査相談（レファレンス）の充実等を図るとともに、企画展や子どもを対象とした手づくり絵本コンクールを行い、県民の読書活動の推進と利用拡大に努めた。

（2）県立博物館の整備・充実

入館者が安全で快適に利用できるよう、本館2階トイレの洋式化や教育資料館（分館）階段の滑り止め工事等の施設設備の改修を行うとともに、文化学術拠点としての

博物館機能の強化を図り、魅力ある博物館活動の充実に努めた。

(3) 青少年教育施設の整備・充実

7月の大雨被害のあったアスレチック施設や取付道路の法面の崩れに対し、復旧を図るため、野外施設の改修工事等を行うとともに、飯豊・金峰少年自然の家のバスを更新し、利用者が安全で快適に利用できるように施設の整備・充実に努めた。

3 社会教育推進体制の充実

(1) 県社会教育委員の会議（15名）

昨年度までは2回の開催だったが、今年度は3回の会議を行い、社会教育の推進と生涯学習の振興のあり方や施策について意見をいただく機会を得た。第169回の会議では、特に、「成人の社会参画と生きがいづくり」の観点から意見をいただいた。

- 第168回定例委員会議 5月28日（火） 県庁
- 第169回定例委員会議 9月13日（金） 県庁
- 第170回定例委員会議 2月12日（水） 県庁

(2) 社会教育主事養成事業

- 東北大学社会教育主事講習：受講者19名（内県費派遣14名）
 - ・県内研修：6月18日～19日
 - ・磐梯青少年交流の家研修：7月2日～7月7日
 - ・東北大学研修：7月23日～8月10日
- 国立教育政策研究所社会教育主事講習〔B〕：1名受講中（県費派遣）
 - ・研修期間：1月22日～2月28日

(3) 社会教育関係職員研修事業

市町村の社会教育関係職員等を対象として、指導力の向上を図るための研修を実施した。

①社会教育関係職員初任者講座（山形県生涯学習文化財団と共催）

- | | | | |
|----------|-------------|--------|-------|
| ア 初任者講座1 | 5月30日～5月31日 | 遊学館 | 67名参加 |
| イ 初任者講座2 | 8月27日～8月28日 | 三川町公民館 | 29名参加 |

②社会教育関係職員中堅講座（山形県生涯学習文化財団と共催）

- | | | | |
|--------|------|-----|-------|
| ア 中堅講座 | 9月6日 | 遊学館 | 29名参加 |
|--------|------|-----|-------|

③市町村研修等支援事業（山形県社会教育連絡協議会と共催）

- ア アドバイザー派遣：11市町（延べ13回）

IV 県民の主体的な学習活動の機会や環境の充実を図る

1 生涯学習推進体制

(1) 生涯学習施設の整備・充実（生涯学習センター事業）

生涯学習振興の中核施設である山形県生涯学習センターの効果的かつ効率的な管理運営と、機能維持及び安全確保のため、設備等の更新及び修繕を行った。

①県生涯学習センターの管理運営

山形県生涯学習センターについて、指定管理者（公益財団法人山形県生涯学習文化財団）による施設の適切かつ効率的な維持管理運営により、利用者へのサービス向上を図った。

②県生涯学習センターの施設整備

生涯学習センターの機能維持と安全確保のため、設備の修繕を行った。

③学習情報の収集提供

県民の主体的な学習活動を支援するため、様々な方法により広域的かつ総合的な学習情報を提供した。

ア 学習情報収集・提供事業

生涯学習データベースの運営、ホームページの活用により、生涯学習に関する情報を提供するとともに、学習相談を実施した。

アクセス件数 37,078 件、学習相談 46 件（いずれも平成 25 年 12 月末時点）、学習情報紙発行（5 月・10 月）各 18,000 部。

イ 長寿社会情報ネットワーク推進事業

明るい長寿社会づくり連絡協議会関連事業を推進し、高齢者の生きがい健康づくりや社会参画に関する情報の提供を行った。

ウ 「ふるさと塾」推進事業

「ふるさと塾」に関する映像等を記録、インターネットを通じて公開し、ふるさと塾活動の支援基盤の構築を図った。（H26.1 現在公開数：188 件）

④生涯学習活動支援者の育成

地域における主体的な学習活動を推進するため、各種人材育成事業を実施した。

ア 生涯学習関係職員研修事業（5 月・8 月・9 月）

市町村生涯学習・社会教育関係職員の資質向上のため、研修を行った。

イ 地域生涯学習活動支援者育成事業（6 月・11 月）

子どもの読書活動を支えている読み聞かせボランティア等を対象に、研修会（2 回）及び絵本作家講演会を開催した。

ウ シニア地域実践活動支援事業

県内 9 地区の「山形シルバー観光ガイド」の養成及び活動支援を行った。

⑤県民主体の学習機会の提供

県民の幅広い学習ニーズに応えるため、山形学講座等の学習機会を提供した。

ア 「山形学」推進事業（6 月～11 月）

山形の特徴や特性を多面的に捉え、山形に生きることの意義や地域づくりを考えるため、山形学フォーラム、山形学講座（6回）を開催し、学習成果をまとめた「遊学館ブックス」を発刊した。

また、県内外で地域学を実践している民間団体、高等教育機関、行政機関などが集い、地域等に関する情報を交換するための地域学交流集会を開催した。

イ 「仙人講座」開催事業（6月～12月）

長年培ってきた経験・知識を地域や社会貢献に活かし、地域のリーダー役として活躍できる高齢者を養成するため、仙人講座（7回）を開講した。

ウ 地域を育む学習機会提供事業（10月・12月・3月）

県民の社会参画活動が促進され、地域づくりや地域活性化に繋がる学習機会を提供するため、現代的課題や社会的要請に応じた講演会（2回）を開催するとともに、将来を担う子どもたちが感性豊かに育つよう、子育て支援活動と連携して、親子で一緒に優れた芸術文化に触れる機会として音楽影絵劇等を県内2ヶ所で開催した。

エ 「山形学」地域連携講座支援事業（助成：16団体）

山形学の振興を図るとともに、地域に根ざした生涯学習を推進するため、市町村や高等教育機関等が実施する地域学に関する体系的な講座に対して支援を行った。

オ 生涯学習活動支援事業（助成：18団体）

県民の映像学習教材制作や高齢者の観光ガイド、高校及び大学等の学習活動並びに市町村における生涯学習活動など、主体的に生涯学習に取り組む団体の活動を支援した。

カ 生涯学習活動実践団体との連携事業

自主的で創造的な生涯学習活動を実践している団体等と連携し、作家トークショーなどの事業を行った。

（2）生涯学習推進委員会

○第1回委員会 5月27日（月） 県庁

山形県の生涯学習の推進を図るため、平成25年3月に、「第4次山形県生涯学習振興計画」を策定し、生涯学習に関する施策の総合的な企画及び調整、その推進を図るため、関係所属により構成する生涯学習推進委員会を設置。第1回目となる会議を開催し、生涯学習振興計画の進行管理を行うことを確認した。

- ・ 進行管理表（事業実施予定）の調査集約（8月）

○第2回委員会 3月開催予定

進行管理（事業実施状況の確認）及び事業評価を行う予定。

V その他

1 諸会議

(1) 教育事務所等連絡会議

- ①教育事務所社会教育課長会議（年間3回開催） ①4/4～5 ②9/20 ③2/3
- ②教育事務所主任社会教育主事会議（年間1回開催） ①8/6
- ③教育事務所社会教育主事会議（年間4回開催） ①4/15 ②5/2 ③9/11 ④2/14

(2) 社会教育施設連絡会議

- ①県社会教育施設長会議（年間3回開催） ①4/4.5 ②12/3 ③2/13
- ②青少年教育施設研修担当者会議（年間3回開催） ①4/15 ②10/22 ③2/19

2 平成25年度文部科学大臣表彰

(1) 優良公民館

- 天童市立干布公民館（天童市）
- 上山市中川地区公民館（上山市）

(2) 優良PTA表彰

- 尾花沢市立尾花沢小学校PTA（尾花沢市）
- 金山町立明安小学校PTA（金山町）
- 山形県立長井工業高等学校PTA（長井市）

(3) PTA活動振興功労者表彰（5年毎）

- 逸見 良昭 氏（元県PTA連合会長）
- 遠藤 正明 氏（元県PTA連合会長）
- 桂木 宣均 氏（元県高等学校PTA連合会長）
- 岸 靖博 氏（元県高等学校PTA連合会副会長）

(4) 社会教育功労者表彰

- 東山 昭子 氏（鶴岡市）
- 槇 貞男 氏（寒河江市）

(5) 視聴覚教育功労者表彰

- 名木野 功 氏（尾花沢市）

(6) 子ども読書活動優秀実践図書館・団体

- 村山市立図書館（村山市）
- いっちゃん会（寒河江市）

(7) 優れた「地域による学校支援活動」表彰

- もがみサポート塾（最上町）
- 和田地区学校支援地域本部（高畠町）
- 西川町放課後子ども教室（西川町）